

トランスフェリンキット

# OC-トランスフェリンオート‘栄研’



## 糞便中トランスフェリンの測定に最適

### 特 徴

- 本法はラテックス凝集免疫比濁法です。
- 糞便中Tf濃度20～1000ng/mLまで測定可能です。

## 測定原理

本法は、ラテックス凝集反応を応用し、自動分析装置を用いた光学的測定法です。抗ヒトTf抗体をポリスチレンラテックス粒子に感作させて調製されたラテックス乳液と、検体とをセル内で混和反応させると、ラテックス粒子に感作させた抗ヒトTf抗体と検体中のトランスフェリンは反応し、ラテックス凝集反応を起こします。

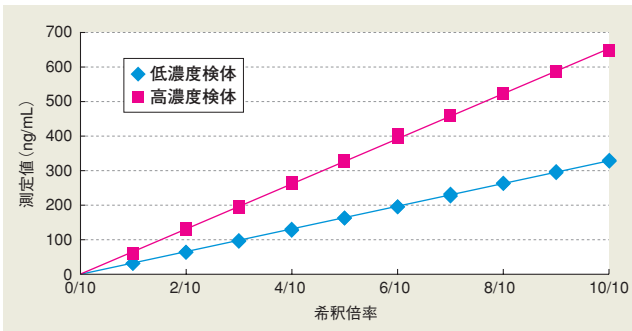
以上のような反応を光学的変化としてとらえると、変化量は検体中のトランスフェリンの濃度に比例して増加します。OC-トランスフェリンオート「栄研」はこの原理を応用して、既知濃度の標準から検量線を求め、検体中のトランスフェリンを測定します。

## 基礎データ

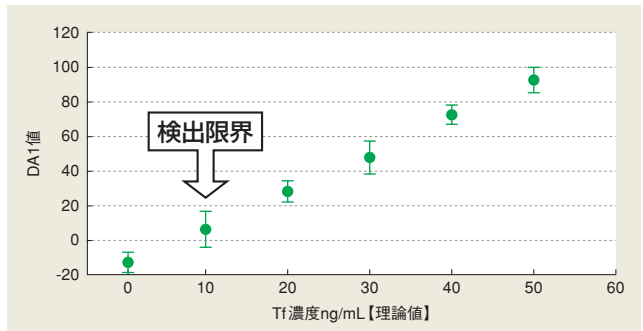
### ■ 同時再現性

	No.1	No.2	No.3
N	20	20	20
Mean	106.8	230.2	595.0
S.D.	1.10	1.08	2.40
CV	1.03%	0.47%	0.40%

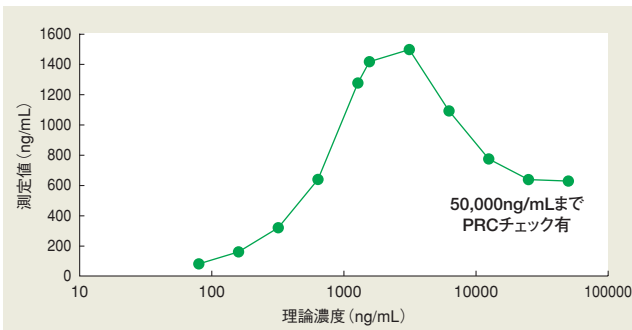
### ■ 希釈直線性



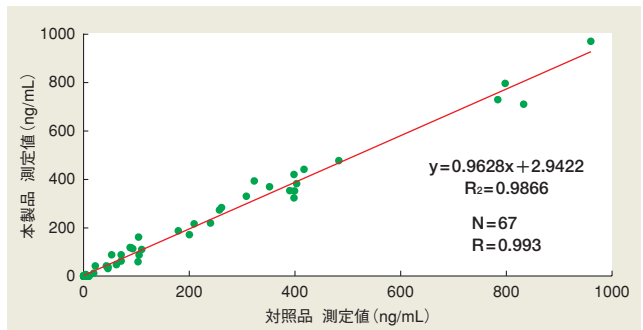
### ■ 検出限界



### ■ プロゾーン試験



### ■ 既承認品との相関性



(社内資料)

## 測定範囲

20 ~ 1,000 ng/mL [4 ~ 200 μg/g (便)]

## 包装形態

製品名	包装単位	貯蔵方法	有効期間	製品コード	適応機種
OC-トランスフェリンオート「栄研」ラテックス乳液	12.5mL×2	2~10℃	1年間	G-PH21	OCセンサー-DIANA OCセンサー-io 生化学汎用機
OC-トランスフェリンオート「栄研」希釈液	500mL×1			G-PH22	

※本試薬の使用上または取扱上の注意については、製品添付文書を参照ください。

※移動式ディスクリット方式臨床化学自動分析装置の届出を行っていない装置では、便中トランスフェリン測定に本試薬を使用することはできません。